

# 介護ウェーブ 2019 推進ニュース

-無差別平等の介護と福祉を-

**STOP! 介護改悪**

2019年10月3日発行 No.7

## 9.26 介護ウェーブ国会行動

9月26日の午後に介護ウェーブ2019国会議員要請行動を行いました。行動には全国25県連から約60名が参加しました。

行動には日本共産党の宮本徹衆議院議員（厚生労働委員）が駆けつけ、国会の情勢についてご報告いただきました。



宮本徹衆議院議員：深刻な人手不足のため、派遣会社に多額の紹介料を支払わなければ、介護の担い手が確保できないなど、事業所から寄せられた声を紹介。事態打開には、安倍政権下で膨張する軍事費を改め、介護職員の処遇改善などに税金の使い道を切り替えるしかないと指摘。「野党に願いを託せば介護の人手不足、低賃金が解決できるような共通の政策を示し、政権をかえていきたい。力を合わせましょう」とエールをいただきました。

その後、国会議員要請行動に先駆けて全日本民医連林泰則事務局次長が学習会を行い、国が介護保険制度を財政的に持続させるためとして、給付削減と負担増の改悪を続けてきたと説明しました。現在、厚労省の社会保障審議会介護保険部会が多くの改悪の検討を進めていると述べ、「来年の通常国会でいかに改定案を上程させないか、秋の取り組みが最大のポイント」になると強調しました。

学習会後に国会議員要請行動を行いました。

学習会資料は全日本民医連ホームページの「介護ウェーブ」にアップロードしています。

[https://www.min-iren.gr.jp/kaigo\\_wave/](https://www.min-iren.gr.jp/kaigo_wave/)

介護は思いをつなぐ。

「あなたの笑顔」は「わたしの笑顔」に続いている。



目の前に大切にしたい人がある。  
懸命に生きている人がある。  
守りたいその人のくらしがある。  
ともに生きる喜びを感じつつ、  
ただひたすらに、わたしはこの道を歩む。

あなたたちは、  
わたしたちのために  
専門職として様々なことを考えてくれています。  
介護は困っている人の助けとなっている。  
とてもすばらしい仕事だと思います。  
そんな仕事に誇りをもってほしい。

全日本民医連

## 実際に議員と懇談して

### 長野

日本共産党の藤野保史衆議院議員と懇談しました。

介護の切実な要求をしっかりと受けとめていただいた印象だった。実は初めての国会行動でしたが、政治を身近に感じ声を直接届けられたことで私たちの声が政治に反映されるのではと期待が持てました。



### 大阪・兵庫

日本共産党の清水忠史衆議院議員と懇談しました。

介護現場での人手不足や処遇改善に関する現状をお伝えしました。また10月からの特定処遇改善加算の矛盾点をお伝えしたとともに、議員からは諸外国の働き方、特に有休取得の仕組みについて詳しく教えていただきました。お母様もグループホームに入所しているようで、介護現場の理解をしてきている議員さんだと感じました。7名で伺わせていただきましたが一人一人の話をしっかり聞いていただき、今日のお話を生の声として今後委員会などで届けると約束していただきました。





## 京都・滋賀

日本共産党の倉林明子参議院議員と懇談して、介護現場の現状報告を熱心に聞いてくださいました。やっぱり直接議員に伝えることは大切だし、介護職自身が声をあげることとはとても重要なことだと思いました。

## 静岡

日本共産党の井上哲士参議院議員と懇談出来ました。2月20日、5月15日に続いて今年3回目の国会議員要請行動の参加でした。来る前日に県連から県内選出議員に訪問予定のFAXを入れてもらっていましたので、議員に直接お話を聞いてもらえました。請願内容に理解をもらえたことは嬉しく思いました。直接議員本人に事例を話したり、要請をすることの意味は、参加してみないと実感出来ないため多くの職員の参加を呼びかけます。



## 議員要請行動に参加して

### <石川勤労者医療協会・白江将弘さん>

議員会館に入ったのが初めてで、館内ではとても緊張しました。国会議員要請行動に参加してみて、自分の勉強不足を痛感したので職場に戻ってからは政治や制度について勉強しようと思いました。緊張はしましたが時間がない中で最後まで話しを聞いてくださいました。制度をより良くしてもらいたいと強く思いました。

### <淀川勤労者厚生協会・岡恵珠さん>

私たちが働く現場の現状、またやりがいを持って働き続けられるよう処遇改善などについてお話できました。国民の声は絶対に無視できないことなので、いただいた声をどのように形にしていけることが出来るかと言われていました。初めての参加で緊張しましたが、私たちの声はムダになっていないと確信が持てました。

### <京都・河合隆志さん>

医療・介護の問題や高齢者の実情をととても親身に受けとめていただきました。人手不足、報酬を引き上げることでの利用者の負担増、総合事業への切り捨てなど、感情をこめてお話してくれたことがとても嬉しかったです。来月の国会行動には同僚が参加するので今回の学びを伝えたいと思います。

## 介護ウェブチラシ2019

「保険あつて介護なし」の広がりが...  
介護現場では深刻な人手不足...  
利用者の声...  
私たちは望みます...  
「行き届いた介護を」の声をあげましょう...  
全日本民医連

「行き届いた介護を」は国民の願い。しかし、老後は不安だらけ。どうなるの、介護保険。  
過去... 現在... 未来...  
全日本民医連

全日本民医連では、秋の介護アクションウィーク、来年の通常国会に向けて介護チラシを新たに作成しました。

10月5日移行に印刷したチラシが各県連事務所に届くよう手配しておりますので、是非署名・宣伝行動や学習にご活用ください。数の不足などありましたら事務局までご相談ください。

## あずみの里裁判

### 第2回署名提出行動！！

8月30日のあずみの里裁判控訴趣意書提出にあわせて、あずみの里の署名15万7千筆が裁判所に提出されました。11月8日(金)14:30~第2回の署名提出を東京高裁前で行います。これからも署名活動、カンパのご協力をお願いします。

### お問い合わせ先

全日本民医連 介護ウェー7 2019 推進本部

TEL:03-5842-6451

E-mail: [min-kaigo@min-iren.gr.jp](mailto:min-kaigo@min-iren.gr.jp)

事務局:小又/山川